

教 育 課 程 表

第二学年用	令和7年度		第2学年			教科の備考	
	教科	科目	標準 単位数	学年(年次)			計
			1	2	3		
国語	現代の国語	2		3		7	
	言語文化	2	2				
	文学国語	4			2		
地理	地理総合	2			2	4	
歴史	歴史総合	2		2			
公民	公共	2	2			2	
数学	数学Ⅰ	3	3			8 11	
	数学Ⅱ	4		3			
	数学Ⅲ	3			!3		
	数学A	2			2		
理科	物理基礎	2		3		7 10	
	物理	4			!3		
	化学基礎	2	2				
	生物基礎	2			2		
保健 体育	体育	7~8	2	2	3	9	
	保健	2	1	1			
芸術	美術Ⅰ	2	&2			2	1 学年 : &2 ・どちらか1科目を選択
	書道Ⅰ	2	&2				
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			7	
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2		
家庭 情報	家庭基礎 情報Ⅰ	2 2	2			2	「工業情報数理」で代替
普通科目 小計			19	16	13 19	48 54	
工業							
専門科目 小計			10	13	16 10	39 33	
総合的な探究の時間 自立活動		3~6	0	0	0	0	「課題研究」で代替
履修単位数			29	29	29	87	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3	
合 計			30	30	30	90	
卒業に必要な修得単位数			74単位				
備 考			3年生 : ! (6単位) ・普通科目(数学Ⅲと物理)と専門科目の選択				

【現代の国語】

現代の国語はこんな科目です。

教科	国語	学科	全科	単位数	2年 3単位
使用教科書	新編 現代の国語 (東京書籍)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・新編 現代の国語 学習課題ノート (東京書籍) ・改訂版漢字検定7～2級対応 書きたくなるアシスト常用漢字(数研出版) ・高校 国語の学習 3 実践国語(啓隆社) ・国語常識と読解演習パーフェクトノート(尚文出版) ・国語常識とSPIの学習パワーアップノート(尚文出版) 	

こんな力を付けることを目標としています。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- ③ 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち言葉を通して、他者や社会に関わろうとする態度を養います。
- ④ 週1回の漢字テストを年間を通じて実施し、常用漢字の習得に努めます。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・随想 (ルリボシカミキリの青・鍋洗いの日々・森で染める人) ・評論 (水の東西・スキマが育む都市の緑と生命のつながり・美しさの発見・真の自立とは) ・表現 (実用的な文章) 	<ul style="list-style-type: none"> ・随想を読んで筆者のものの見方や感じ方等を読み取ります。 ・小説に親しみ、情景や人物の心情を読み味わい、人間の多面性に触れます。 ・筆者の考え方を論理的に理解する力を身に付けます。 ・社会人になった時必要とされる実用的な文章の書き方を学びます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。
思考・判断・表現	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いている。
主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしている。目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしている。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や單元ごとの具体的な評価方法としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出された課題 ・定期考査と課題テスト ・授業ノート(プリント) ・漢字小テスト ・授業中の学習の様子(発表や討論の様子、学習活動への参加状況など) <p>これらをもとに、総合的に判断します。</p>	

担当者からのメッセージ

「現代の国語」では、主に明治以降の文章を学びます。それらの作品を、読解、鑑賞をすると共に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けていきます。話す・聞く・書く・読むという4つの活動を通して、みなさんの感じ方・考え方・生き方がより豊かになるようにしたいと思います。

【歴史総合】

歴史総合はこんな科目です。

教科	地理歴史	学科	全科	単位数	2年 2単位
使用教科書	明解 歴史総合 (帝国書院)		副教材等	ダイアログ歴史総合(第一学習社)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ・社会的事象の歴史的な見方・考え方を学び、課題解決する力を高めます。
- ・近現代の歴史について学び、広い視野や国際社会で主体的に生きる力を高めます。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の扉 ・近代化と私たち ・国際秩序の変化や大衆化と私たち ・グローバル化と私たち 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を学ぶ上での資料の性質や、資料をどのような視点で見るべきかを理解します。 ・江戸時代と世界の結びつきを理解し、欧州がなぜアメリカ・アジアへ進出したのかを考察します。 ・フランスでの帝政やイタリア、ドイツの統一などを理解し、帝国主義による世界の関係性について考察します。 ・明治維新、日清・日露戦争を基に、アジア諸国の変容を理解します。 ・第一次大戦の推移と大戦が世界に与えた影響などを理解します。 ・第二次大戦に至るまでの過程やその推移、大戦下の社会状況や生活などを多面的・多角的に理解します。 ・戦後の国際秩序や、冷戦により世界の分断がどう広がったかを理解します。 ・冷戦終結後の国際政治の特徴や日本の役割を理解し、現代の諸課題について考察します。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義を相互の関連やつながりに着目して、概念などを活用し多面的・多角的に考察する力や、その力を効果的に説明し、それらを基に議論する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本国民としての自覚、我が国に対する愛情、他国を尊重することの大切さへの自覚を深めようとしている。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題、提出物 ・定期考査 ・その他教科担任の実施した小テスト等 ・授業中の学習の様子(学習活動への取り組み状況、発言の内容など) 	

担当者からのメッセージ

「歴史総合」は、近現代における世界とその中の日本について学びます。理解を深めれば、現在の世界における様々な情勢や問題がなぜ起こったかを知る手がかりになるでしょう。また、小中学校では触れる機会が少ない2つの世界大戦に関して多面的・多角的に考える時間を作りたいと思っています。主体的な姿勢で授業に参加してくれることを期待しています！

【数学Ⅱ】

数学Ⅱはこんな科目です。

教科	数学	学科	全科	単位数	2年 3単位
使用教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・新課程 Study-Upノート 数学Ⅱ(数研出版) ・新課程 パラレルノート 数学Ⅱ(数研出版) 	

こんな力を付けることを目標としています。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を評価の観点のとおり育成することを目標とします。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
2年	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数と対数関数 微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法、除法及び分数式の四則計算について理解します。 ・等式や不等式が成り立つことを証明できるようにします。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数にまで拡張して2次方程式を解きます。 ・因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにします。 ・座標や式を用いて直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識し、事象の考察に活用します。 ・角の概念を一般角まで拡張し、三角関数及び三角関数の加法定理について理解します。 ・指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用します。 ・微分、積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用します。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。
思考・判断・表現	論理的に考察する力、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり図形の性質を論理的に考察したりする力、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、事象を数学的に考察したり問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題、提出物 ・定期考査 ・その他教科担任の実施した小テスト等 ・授業中の学習の様子(学習活動への取り組み状況、発言の内容など) 	

担当者からのメッセージ

「数学Ⅱ」では、社会現象や自然現象の解明に欠かせない関数とそのグラフについて学び、それらを解析する方法を身に付けることができます。数学Ⅱではすでに学習したことを深めるばかりではなく、全く新しい概念もたくさん学びます。複素数、弧度法、対数関数、微分法、積分法などです。これらは、数学の学びを深めるためになくてはならないことなのです。習得した知識・技能を、思考力・判断力・表現力を用いて活かせるよう、主体的に学んでいってください。

【物理基礎】

物理基礎はこんな科目です。

教科	理科	学科	全科	単位数	2年 3単位
使用教科書	新編物理基礎 (数研出版)		副教材等	フォローアップドリル物理基礎①、②、③ (数研出版)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①物理的な事物・現象について実験・観察を行い、自然に対する関心や探究心を高めます。
- ②物理の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観の育成を目指します。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
2年	①物体の運動とエネルギー ②さまざまな物理現象とエネルギー	<ul style="list-style-type: none">物体の運動について現象を学び、数式、グラフなどの表し方を理解して物体の運動を分析します。運動の法則を理解し、力と運動の関係を学びます。仕事とエネルギーについて学びます。熱運動と熱エネルギーについて学びます。波の伝わり方、音の現象を学びます。電気現象や電磁波の基礎を学びます。人類が利用可能なエネルギーの特性や利用方法を学びます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	物理的な現象や事物について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識・技能を身に付けている。実験の基本操作などを習得し、実験の過程や結果を的確に記録・整理し、科学的に探究している。
思考・判断・表現	理解し身に付けた知識・技能を活用し、課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	物理的な知識や技能を身に付けようと授業や実験に粘り強く取り組み、その学習結果を次に生かそうと努力することができる。
各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 ・課題等の提出物 ・定期考査 ・授業ノート ・実験レポート ・小テスト ・授業中の学習の様子 (学習活動への参加状況) などをもとに、上記の観点を踏まえ、総合的に評価します。	

担当者からのメッセージ

物理学は、自然界の基本的な法則やエネルギーの問題を学びます。また、日常生活や社会と関連が深く、特に工業技術理論を理解するには不可欠な学問です。目的意識を持って学習、実験、観察を行い、自然現象を物理的に探究する能力と態度を身に付けましょう。

丁寧に理論立てて学べば誰もが理解できる自然科学の一分野です。みなさんと一緒に自然の不思議と魅力、科学技術への応用を学びたいと思っています。

【体 育】

体育はこんな科目です。

教 科	保健体育	学 科	全科・群	単位数	1年2単位 2年2単位 3年3単位
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするための技能を身に付けるようにします。
- ②運動の課題を発見し、解決に向けて思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。
- ③運動を継続して親しむために、競争や協働の経験を通して、公正・協力・責任・参画・他者の違いを大切にすることの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	体づくり運動 バレーボール 柔道 バスケットボール 陸上(長距離走) サッカー 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の体育授業を理解し、集団行動の様式を身に付けます。 ・バレーボールの基本的な技能を身に付けます。 ・基本動作や基本的な技を用いて、安全な受け身と寝技を身に付けます。 ・バスケットボールの基本的な技能を身に付けます。 ・長距離走の基本的な知識を理解し、自己設定タイムで走りきります。 ・サッカーの基本的な技能を身に付けます。 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解します。
2年	体づくり運動 柔道 バレーボール サッカー 陸上(長距離走) バスケットボール 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の様式を確認し、身に付けます。 ・安全に配慮しながら技をかけられるようにします。 ・基本技能を用い、ゲームの中で三段攻撃ができるようにします。 ・縦横に広がりスペースを使ったゲームができるようにします。 ・目標タイムを設定し、走りきることができるようにします。 ・移動しながらパス・シュートができるようにします。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解します。
3年	体づくり運動 柔道・サッカー バレーボール・バスケットボール 卓球・ソフトボール 陸上(長距離走) 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや、心地よさを味わい実生活に役立てます。 ・1、2年生で学んだ技を生かし、試合ができるようにします。 ・チームの構成メンバーを生かしたゲームができるようにします。 ・状況に応じた攻防ができるようにします。 ・目標タイムを設定し、走りきることができるようにします。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能が身に付いている。
思考・判断・表現	運動の課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の活動を通して、公正・協力・責任・参画などの態度があり、一人一人の違いを大切しながら健康・安全を確保しようとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの評価方法としては、授業中の学習の様子、グループノートの提出、パフォーマンステスト、記録会や試合の結果、ゲーム中の参加状況をもとに、総合的に判断します。	

担当者からのメッセージ

「全ての生徒が体育の授業が待ち遠しくて仕方がない」くらい楽しみな時間にしたいものです。そのためには、ただ体を動かすだけでなく仲間と課題を見つけ出し、科学的な理解のもとに運動するとともに他者を尊重しながら活動する習慣を身に付けることが大切です。前向きに取り組んでくれることを期待しています。

【保 健】

保健はこんな科目です。

教 科	保健体育	学 科	全科・群	単位数	1年 1単位 2年 1単位
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めその技能を身に付けるようにします。
- ②健康について自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに目的や状況に応じて他者に伝える力を養います。
- ③生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養います。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	現代社会と健康 ・健康の考え方 ・生活習慣病 ・薬物乱用 ・精神疾患 ・感染症 安全な社会生活 ・事故・災害・交通安全 ・応急手当	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の健康課題や健康の考え方について理解します。 ・運動、食事、休養、睡眠の調和のとれた生活の必要性を理解します。 ・薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響があることを理解します。 ・心身の不調の気づきや疾病の早期発見と社会的対策を理解します。 ・感染症予防には個人の取り組みと社会的対策の必要性を理解します。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備とそれに応じた個人の取り組みの必要性を理解します。 ・傷害や疾病の軽減や応急手当の正しい手法と手順を理解します。
2年	生涯を通じる健康 ・生涯の各段階における健康 ・労働と健康 健康を支える環境づくり ・環境と健康 ・環境と食品の保健 ・保健・医療サービスと医薬品制度 ・保健活動と環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・各年齢段階に応じた健康課題や健康管理及び安全管理を理解します。 ・思春期における性に関する意識、性行動を正しく理解します。 ・労働災害や職業病などを踏まえ健康管理及び安全管理を理解します。 ・人間の生活や産業活動は自然環境を汚染し、健康に影響を及ぼすことがあることを理解します。 ・食品の安全性の基準について、健康とのかかわりを理解します。 ・保健・医療サービスの活用と医薬品の適切な使用について理解します。 ・保健活動及び社会的対策について理解します。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における健康や安全について理解している。 ・自他の健康や安全に配慮しながら生活できる技能が身に付いている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の意見や考え方を伝えたり聞いたりして、課題を発見し課題解決にむけて努力している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・健康やそれを支える環境づくりに関心を持って学習に取り組もうとしている。 ・生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付けるために意欲的に取り組もうとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況）、提出物の記述内容、定期考査の結果、小テスト等への取り組みをもとに、総合的に判断します。	

担当者からのメッセージ

「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間行います。健康問題がテレビや新聞やSNS等で大きく扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ適切な行動を選択できるようにならなければなりません。また「保健」の授業では自分の家族の健康を保持増進させるため基本的な事項を学習しますので、理解することはもちろん、自分の日常生活の中に具体的な課題がたくさんあることが分かると思っています。その課題を自分に即したものとして考え、よりよい解決を導き出して欲しいと思っています。病気になって初めて健康のありがたさに気づくのではなく、健康なうちから自分の健康に、注意を払って欲しいと思います。

【英語コミュニケーションⅡ】

英語コミュニケーションⅡはこんな科目です。

教科	外国語	学科	全科	単位数	2年 2単位
使用教科書	Power On English Communication I, II (東京書籍)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・ Power On WORKBOOK English Communication I, II (東京書籍) ・ 改訂版FollowUp英文法基本ドリル (数研出版) ・ チャンクで英単語Basic第2版 (三省堂) 	

こんな力を付けることを目標としています。

- ・ 将来に於いていつでも学びなおしができる確かな基礎学力を身に付けます。
- ・ 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができます。
 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができます。
 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができます。
 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができます。
 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができます。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
2年	<Power On I> Lesson 7 No Plastic or No Future	[題材内容] プラスチックゴミを題材に環境問題について考える。 [言語材料] 関係副詞 関係代名詞 what
	Lesson 8 Oh My Cod!	[題材内容] フィッシュ&チップスから食料、資源問題について考えを深める。 [言語材料] 分詞構文 非制限用法 過去完了
	Lesson 9 Is E-sports a Real Sports?	[題材内容] E スポーツについて、その特性、特徴を理解し、考えをまとめる。 [言語材料] 各種文型の展開
	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	[題材内容] ある写真家の生き方を通じて異文化理解への考えを深める。 [言語材料] 各種仮定法
	<以降 Power On II> Lesson 1 Play me, I'm Yours	[題材内容] ストリートピアノについてのテレビレポート。 [言語材料] 助動詞+動詞の原形、受け身、S+V [be 動詞以外] +C
	Lesson 2 Ethical Fashion	[題材内容] 現代のファッション、ファストファッション、エシカルファッションについて。 [言語材料] S+V+O+C、使役動詞と原形不定詞、知覚動詞
	Lesson 3 One for All, All for One	[題材内容] ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へのインタビュー。 [言語材料] 現在完了形、過去完了形、仮定法過去の if 節
	Lesson 4 Vending Machines	[題材内容] 日本の自動販売機、海外の自動販売機についてのオンライン記事。 [言語材料] 関係代名詞 (主格)、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 (目的格)

このように評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">各単元で学習した語彙・文法・発音・用法などについて理解している。学んだ内容に関連したことについて、目的や課題に応じて自分の表現したいことを論理的にまとめている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">自分の目的や課題に応じて、学んだことを活用しまとめたことを、的確な情報や自分の考えと併せて、相手に伝えようとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。 <ul style="list-style-type: none">課題、提出物定期考査、課題考査その他教科担任の実施した小テスト等授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など）	

担当者からのメッセージ

当面は1年次のPower On I を使用していきます。昨年身に付けた基礎基本を土台に様々な形態で授業を展開しますので、毎時の予習復習はもとより、1年次の既習事項をいつでも振り返ることができるように工夫してください。